

**第 2 回 新潟駅南口広場再編検討委員会**  
**新潟駅南口広場（再編）整備コンセプト（案）**

令和 6 年 3 月

# 新潟駅南口広場(再編)整備コンセプト(案)

## 上位計画

### 都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】

基本方針の3本の柱

- ・ 人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくり
- ・ 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる新たな価値の創造
- ・ 居心地がよく、市民が主役になるまちづくり (令和4年2月)



### 「新潟都心地域の目指す姿」

目指す姿の実現に向けた5つの視点

- ・ 開港都市・みなとまちとしての歴史・文化や多様な水辺空間を備える都市
- ・ 緑と賑わいがあふれる**ウォーカブルな都市**
- ・ 国内外の企業に選ばれる**拠点都市**
- ・ 様々な災害などに対応した防災機能を備える安心安全な都市
- ・ スマートエネルギーの推進による次世代型の環境都市

(令和3年11月)

### 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン

将来ビジョン：

新潟駅・万代地区周辺を新たな魅力・価値が創造される「人中心のまち」へつがる「2核・水辺・3モール」

将来ビジョンを実現するための5つの方針

- ・ 居心地がよく**歩きたくなる空間を形成**する
- ・ まちなかの**交通環境を整える**
- ・ **安心・安全で持続可能な都市環境を形成**する
- ・ エリア固有の資源を活かした魅力を再発見し磨く
- ・ 官民連携でまち・人を育て発進する (令和5年3月)

## 新潟駅 駅舎・駅前広場 計画提案競技

駅前広場計画コンセプト：

人、交通、自然が気持ちよく循環する「都市の庭」

- ・ 分断されてきた南北市街地を結び、癒しや賑わいを創出する空間
- ・ 多くの人が交流し賑わいを形成する**イベント広場**
- ・ **バリアフリー**を考慮したペDESTリアンデッキ
- ・ 時間とともに成長・成熟していく広場



## 第1回新潟駅南口再編検討委員会 各エリアごとの課題

①タクシー・一般車乗降場・駐車場

- ・ **一般車両とタクシーの錯綜**
- ・ **一般車、駐車場の交通混雑**

②仮設駐輪場

- ・ 需要や利用のしやすさに配慮した駐輪施設の整備

③西側連絡通路

- ・ 仮称バスタ新潟開業を見据えた、維持管理体制の構築

④一般バス乗降場

- ・ 臨時バスの需要が集中した際の、待機車両の発生
- ・ 平日等、需要が少ない際の、**空間の有効活用**

⑤仮称バスタ新潟 (上部空間)

- ・ 仮称バスタ新潟 (上部空間) の活用方法の検討

その他

- ・ **バリアフリー動線の整備や快適な空間の創出、各交通モード間のアクセシビリティ向上**

県内外からの来訪客を受け入れ、広域交流の玄関口となる空間整備を進め、交流・賑わいを生み出す南口広場を目指します

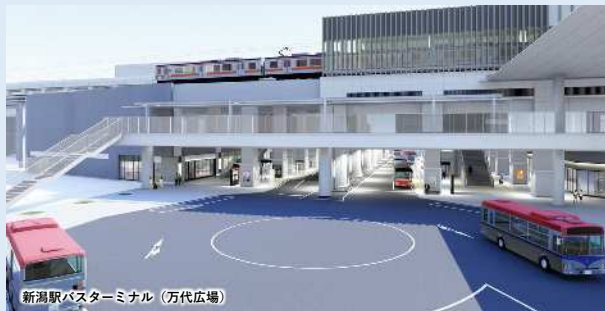
### ①交通ターミナルとしての機能強化

〔課題①,④〕

- 広域交通結節点の機能強化
- 公共交通のターミナルを中心に市内外とまちなかを結ぶ交通環境を整備
- 移動の円滑化に向け、MaaSや自動運転などの次世代技術の活用と公共交通を含めた多様な交通手段の強化
- 自動車交通混雑の緩和
- 特異日の交通混雑への対応

《整備イメージ》

- 新潟駅バスターミナルや仮称バスタ新潟の整備
- 一般車とタクシーの動線分離
- 一般車乗降場のスペースの拡大
- オープンスペースの一部をバス待ち空間や乗降スペースとして活用



新潟駅バスターミナル (万代広場)

### ②人を中心とした動線の確保

〔課題②,③,その他〕

- 安全で快適に楽しく移動できる環境づくり
- 都市緑化と共に、回遊性の向上による居心地のよいウォーカブルな空間の形成
- 公共交通を補完する小型モビリティやレンタルサイクル、徒歩など多様な交通手段の活用による、都心部における回遊性の強化
- 鉄道駅から各交通モードへのアクセシビリティ向上

《整備イメージ》

- ペDESTリアンデッキなどの整備による歩行者ネットワークの形成
- 最新技術の活用により、多様な交通モードの選択を可能とするモビリティステーションの整備
- 駅改札から周辺施設まで利便性・回遊性の高い動線の整備
- アンプレラフリーを備えたデッキや上屋などによる快適な空間の整備



広島駅

撮影) 2021年11月



長岡駅

撮影) 2024年2月

### ③にいがた2kmの玄関口にふさわしい空間の創出

〔課題④,⑤〕

- 多様な人が出会い、交流が生まれる居心地の良い空間を創出
- 駅南北やスタジアム等周辺エリアとつながりのある空間の形成
- 歩行空間や滞留空間を緑のネットワークとしても活かし、潤いある空間を形成
- 南口中央広場や歩行空間、仮称バスタ新潟上部空間などを滞留・賑わい空間として活用
- AIやビックデータ等の新たなテクノロジーを活用した情報発信

《整備イメージ》

- 広域交流の玄関口として、仮称バスタ新潟上部空間に周辺施設と一体となった滞留・滞在空間や、交流・高次の賑わいを創出する集客施設などを整備
- 災害時にも柔軟(リバーシブル)に活用できる空間・オープンスペースの確保
- 緑地などのオープンスペース、ベンチや植栽等の配置などによる快適な滞留・賑わい空間の確保
- リアルタイムな情報を発信するデジタルサイネージの充実



古野ルフル

撮影) 2024年2月



新潟駅南口中央広場